

2021～2022年度

国際ロータリー会長 シェカール・メータ
 2560地区ガバナー 高尾 茂典
 高田ロータリー会長 中田 正
 幹事 箕輪 賢一

事務局：新潟県上越市西城町2-10-25 大島ビル201号
 TEL (025)526-3288 FAX (025)526-3534
 メールアドレス：takadarc@joetsu.ne.jp
 例会場：デュオ・セレッソ TEL (025)526-3111

広報・会報・雑誌委員会：
 齋藤祐介・星 則雄・西條英夫・猪股耐真男・鈴木陽一

国際ロータリー第2560地区
 ガバナーテーマ

ロータリーを学び、
 ロータリーを広げよう



高田ロータリークラブ
 今年のスローガン

利他の心をもって、
 超我の奉仕を

奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

第10回例会 9月17日(金)

No.9

会長挨拶 ●中田 正

昨夜(9月16日)は、石川県能登地方を震源とする地震がありました。珠洲市で震度5弱を観測し、上越地域においても震度3を観測しました。新型コロナウイルスのことで頭がいっぱいな中でも、時と場所関係なく、忘れたところに地震は来るものだと実感しました。

また、ニュース報道をみて、能登の志賀原発、柏崎の刈羽原発は私たちの住んでいる地域のすぐ近くに位置していると改めて認識しました。

皆さんは、災害発生時に、すぐに逃げることができるように必要最低限のものをまとめてありますか。次の5つのものを「非常用持ち出しバック」に入れておくことが推奨されています。

- 1) 飲料水、食料品(カップ麺、缶詰、ビスケット、チョコレートなど)
- 2) 貴重品(預金通帳、印鑑、現金、健康保険証など)
- 3) 救急用品(ばんそうこう、包帯、消毒液、常備薬など)
- 4) ヘルメット、防災ずきん、マスク、軍手
- 5) 懐中電灯、携帯ラジオ、予備電池、携帯電話の充電器 です。

まだ、余震等の恐れもあるので、できる範囲で試してみてもは、いかがでしょうか。

次に災害支援金のお願いです。お盆に扇状降水帯による豪雨によって佐賀・長崎地域に冠水被害や土砂崩れによる大きな被害が発生しました。7月の熱海の土石流災害に引き続き、災害支援金をお一人様1,000円目安をお願いしたいと思います。皆様のご支援を心よりお願いいたします。

本日の卓話は会員卓話で上越教育大学 林学長様から、「上越教育大学の今、そしてこれから」と題してお話させていただきます。

出席報告

94.23%

メイクアップ

飯塚宏佳君・長谷川優太君(9/12 アクトの日)

委員会報告

出席ニコニコBOX委員会

吉原耕一君：自粛解除しました。家飲みと月見会席でお待ちしております。

米山奨学委員会：

寄付のお願い



会員インフォメーション



吉原耕一君：
11/6 高田まちジャズのお知らせ



齋藤尚明君：
10/16HarpJazz のお知らせ

幹事報告

配布物：週報No.8
報告：9/24 祝日振替休会日

10月の例会プログラム

例会日	プログラム	会場
10月1日	会員卓話 米山奨学委員長 吉田 巧君 演題 米山奨学の活動成果と寄付の大切さ (奨学生OBのメッセージムービーを添えて)	デュオ セレッツ
10月8日	お月見例会 <夜例会>	長養館
10月15日	特定休会日	
10月22日	卓話者 全日本スキー連盟スキークロス強化指定選手 古野 慧様 演題 北京への挑戦、スキークロス!	デュオ セレッツ
10月29日	卓話者 株式会社OZLinks(オズリンクス) 代表取締役 女将 原井紗友里様 演題 越中八尾における通年観光への挑戦	デュオ セレッツ

会員卓話

上越教育大学の今、そしてこれから



上越教育大学 林 泰成 君

この4月より、上越教育大学長を務めています林です。同時に、高田ロータリークラブのお仲間に加えていただきました。

今、人口の減少が大きな社会問題となっています。私は1959年生まれですが、厚生労働省のデータによれば、その年の日本の出生者数は約162万人です。2040年の推計値は、74万人です。半分以上になる見込みです。とうぜん、保育所、幼稚園、小中学校、高校の数は激減します。教員数もそんなに必要ないということになりますので、教員養成に取り組んでいる本学のような大学は存続の危機ということになりかねません。

ちなみに、上越教育大学は、大学院修士（専門職学位課程も含む）が現在は300名ですが、次年度からは、210名に縮小します。

最近、地方創生や地域づくりに関する本を読む機会が増えました。こうした状況を打破するためには、大学内の取組だけではいかんともしがたいと感じるからです。

7月21日の日経新聞に、「多様な働き方「10万都市」に潜在力：首位は石川・小松」という記事が出ました。日経と東京大学が、多様な働き方が可能な特徴を、「公衆無線LANの整備状況」や「地域内の経済循環率」など8つの観点から点数化し、順位付けしたものです。新潟県上越市はなんと9位に入っています。

この地域には、まだまだ潜在力があると思います。教育大学としては、新潟県上越市では、より充実した教育が行われていると言われるように、力を尽くしていきたいと思っております。ご支援のほど、よろしく願います。